

授業科目 聴覚障害 I 演習

【担当教員名】 吉岡 豊		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 <概要> 難聴児（者）の診断・評価・治療で欠くことのできない各種聴覚検査と聴能評価を実践を通して理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 <学習目標> 1 聴覚検査のための予備知識を理解するとともに聴覚検査の理論と実際について理解する。 2 気導・骨導の純音聴力検査ができる。 3 各種聴力検査法を理解すると共に基本的聴覚検査を体験する。 4 語音聴力検査を実施し、その評価ができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業の進め方の確認。聴覚機能検査の概要。			1	AB 合同講義
2	音の基礎知識とオージオメータについて理解する。取り扱い説明書の活用ができる。			1	AB 合同講義
3	純音聴力検査（気導）ができる。			2	AB 別講義と演習
4	純音聴力検査（骨導・マスクング）ができる。			2	AB 別講義と演習
5	純音聴力検査（気導と骨導）ができる。			2	AB 別演習
6	インピーダンスオージオメトリーを体験し、検査方法を理解する。			3	AB 合同
7	インピーダンスオージオメトリーが実施できる。			3	AB 別演習
8	語音聴力検査と閾値上聴力検査を体験し、検査方法を理解する。			3, 4	AB 合同
9	語音聴力検査と閾値上聴力検査を実施する。			3, 4	AB 別演習
10	各種閾値上の聴力検査と自記オージオメトリーを理解し体験する。			3	AB 合同
11	各種閾値上の聴力検査と自記オージオメトリーを実施できる。			3	AB 別演習
12	選別聴力検査、乳幼児聴力検査を理解し体験する。			3	AB 合同
13	選別聴力検査、乳幼児聴力検査を実施できる。			3	AB 別講義と演習
14	各種聴覚機能検査の結果の判読ができる。			1, 2, 3, 4	AB 合同
15	まとめ			1, 2, 3, 4	AB 合同
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		聴覚検査の実際 改訂3版	日本聴覚医学会編 立木孝	南山堂 ISBN 978-4-525-37043-5	2009・3,400円＋税
参考書		言語聴覚療法シリーズ5 改訂聴覚障害Iー基礎編	山田弘幸、佐場野優一	建帛社 ISBN 978-4-7679-4505-7 C3047	2007・2,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席・演習実習の態度・ミニテスト・レポートから総合的に評価する。			【履修上の留意点】 ABと2グループに分け、各週で2時間続きの授業とする。 演習は毎回レポート課題を課すので検査方法などは教科書を元に自分で調べておくこと。		